

第1号議案 令和元年度補正収支予算

勘定科目	元年度補正予算	元年度予算	差額
基本財産受取利息	201,000	202,500	△ 1,500
基本財産賃貸料収入	1,000,000	1,000,000	0
基本財産運用益	1,201,000	1,202,500	△ 1,500
入館料収入	500,000	500,000	0
伝習所運営収入	800,000	800,000	0
売店収入	2,000,000	2,000,000	0
事業収入	3,300,000	3,300,000	0
受取地方公共団体補助金	800,000	400,000	400,000
受取補助金等	800,000	400,000	400,000
受取寄付金	1,200,000	1,600,000	△ 400,000
受取寄付金	1,200,000	1,600,000	△ 400,000
受取利息	200	200	0
雑収入	10,000	10,000	0
雑収益	10,200	10,200	0
經常収益計	6,511,200	6,512,700	△ 1,500
給与手当	1,547,000	1,536,000	11,000
臨時雇用賃金	450,000	500,000	△ 50,000
福利厚生費	280,000	280,000	0
旅費交通費	30,000	30,000	0
通信運搬費	160,000	190,000	△ 30,000
減価償却費	1,144,282	1,144,282	0
消耗品費	80,000	110,000	△ 30,000
修繕費	100,000	100,000	0
印刷製本費	630,000	500,000	130,000
光熱水料費	480,000	500,000	△ 20,000
賃借料	410,000	410,000	0
保険料	120,000	120,000	0
諸謝金	20,000	170,000	△ 150,000
雑費	500,000	450,000	50,000
広告宣伝費	400,000	100,000	300,000
調査研究費	400,000	30,000	370,000
研修教材費	420,000	650,000	△ 230,000
事業経費	7,171,282	6,820,282	351,000
事業費	7,171,282	6,820,282	351,000
会議費	30,000	30,000	0
通信運搬費	55,000	55,000	0
減価償却費	58,281	58,281	0
消耗品費	10,000	10,000	0
修繕費	10,000	10,000	0
光熱水料費	6,000	6,000	0
賃借料	60,000	60,000	0
保険料	2,000	2,000	0
諸謝金	350,000	350,000	0
租税公課	3,000	3,000	0
負担金	250,000	250,000	0
支払利息	13,000	13,000	0
雑費	300,000	250,000	50,000
管理費	1,147,281	1,097,281	50,000
予備費	0	200,000	△ 200,000
經常費用計	8,318,563	8,117,563	201,000
評價調整前当期經常増減額	△ 1,807,363	△ 1,604,863	△ 202,500
当期經常増減額	△ 1,807,363	△ 1,604,863	△ 202,500
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,807,363	△ 1,604,863	△ 202,500
法人、住民税及び事業税	210,500	380,000	△ 149,500
当期一般正味財産増減額	△ 2,017,863	△ 1,964,863	△ 53,000
一般正味財産期首残高	212,693,877	211,999,136	694,741
一般正味財産期末残高	210,676,014	210,034,273	641,741
正味財産期末残高	210,676,014	210,034,273	641,741

収支内訳表

公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	合計
	売店等事業	賃貸事業	小計		
				201,000	201,000
		1,000,000	1,000,000		1,000,000
		1,000,000	1,000,000	201,000	1,201,000
500,000					500,000
800,000					800,000
	2,000,000		2,000,000		2,000,000
1,300,000	2,000,000		2,000,000		3,300,000
800,000					800,000
800,000					800,000
600,000	600,000		600,000		1,200,000
600,000	600,000		600,000		1,200,000
				200	200
	10,000		10,000		10,000
	10,000		10,000	200	10,200
2,700,000	2,610,000	1,000,000	3,610,000	201,200	6,511,200
773,500	773,500		773,500		1,547,000
225,000	225,000		225,000		450,000
140,000	140,000		140,000		280,000
15,000	15,000		15,000		30,000
130,000	30,000		30,000		160,000
1,003,734	140,548		140,548		1,144,282
70,000	10,000		10,000		80,000
90,000	10,000		10,000		100,000
180,000	450,000		450,000		630,000
465,000	15,000		15,000		480,000
360,000	50,000		50,000		410,000
114,000	6,000		6,000		120,000
20,000					20,000
400,000	100,000		100,000		500,000
400,000					400,000
400,000					400,000
420,000					420,000
5,206,234	1,965,048		1,965,048		7,171,282
5,206,234	1,965,048		1,965,048		7,171,282
				30,000	30,000
				55,000	55,000
				58,281	58,281
				10,000	10,000
				10,000	10,000
				6,000	6,000
				60,000	60,000
				2,000	2,000
				350,000	350,000
				3,000	3,000
				250,000	250,000
				13,000	13,000
				360,000	300,000
				1,147,281	1,147,281
				0	0
5,206,234	1,965,048	0	1,965,048	1,147,281	8,318,563
△ 2,506,234	653,952	1,000,000	1,653,952	△ 946,081	△ 1,807,363

第2号議案 令和2年度事業計画（案）

（公益事業）

安部榮四郎記念館では、公益事業として記念館展示室でおこなう展示活動、手すき和紙伝習所でおこなう紙すき体験活動および館内館外で行うイベントを含む和紙普及活動、調査研究活動を実施している。

令和2年度においては、次のように計画している。

また、今年度は海外からの観光客の予約も増加し、今後も増えることが予想される。パンフレット・「和紙体験説明」などDVDの多言語化も充実したので、さらなる来館者獲得に努力し対応を検討していく。

1、 展示活動について

特に大きな展示替えは予算上難しい。準備設営、広報やチラシ印刷等の経費は大きいですが、独自の和紙を使った作品展やイベントを数回行い入館者獲得に努力する。

① 常設展「安部榮四郎と民芸活動」（多言語化による説明あり）

一昨年度大きな展示替えを実施したので、今年度はこのまま継続する。

安部榮四郎が民芸運動に参加し、柳宗悦はじめ多くの作家との交流があった。このことで和紙に対する独自の精神を持ち、抄紙法や顔料の着色について研究を重ねた。昭和初期に漉かれた色とりどりの和紙を展示し、交流のあった作家達それぞれの出逢いから学んだ軌跡を作品とともに展示する。

展示期間 通年

2、 和紙普及活動

手漉き和紙伝習所でおこなう体験活動は記念館にとって大きな収入源でもあり、松江市で唯一の手漉き和紙が漉けるといふ少数から団体まで体験できる施設でもある。

来館者にとって見るだけでない伝統工芸や最近見直しがすすむ「民芸」を感じることの出来る場となっている。

海外からの観光客は、手漉き和紙を日本の芸術、日本の文化としてみている。この場所（ビルもなく田舎らしい風景）であるからこそ、日本らしさを感じ満足度が高く評価されている。

いま国内の若い層が、民芸運動の良さ、物の質の良さを再認識してきている。これからの時代に合わせてどのように体験活動を進めるか記念館の事業としても大きく変革の時期に来ている。

以上のことを鑑み、国内外の小グループの来館者の誘致に力を入れ、ここで日本文化を体験できるよう紙と墨、お茶の文化など広く和紙と関わることを体験項目として追加して組むことも料金アップにつながり有望である。

記念館の公益事業としての活動は、調査研究・展示と体験等が柱になっているが、どこよりも早くインバウンド対策をした当館の実績は大きい。引き続きインバウンド対策にとりくむ。

現在さまざまな要因で和紙文化継承も危機的な状態である。2016年実施の全国手漉き和紙生産者アンケートの報告書結果でも、後継者不足は和紙にかかわるすべて（原料・道具・漉き手・販路の問題）において言えることである。その解決のため記念館が中心となり、「和紙を未来へ繋ぐ事業実行委員会（仮称）」を立ち上げこの問題に取り組む。

この取り組みは、いま実施できること、今しか出来ないことをよく考え、出雲民芸紙が持つ誇れる技術を伝承できるよう事業を新たに進めていく。

① 手すき和紙伝習所において

・紙すき体験の受入れ

予約制で一人から学校団体まで受入れ、人数と時間によって紙すき内容を変え対応する。松江市に松江市内の小・中学校へ伝統工芸学習と卒業証書等PRする。また海外の来館者は、日本の伝統文化に興味を持っているので通訳のボランティア活動を通して紙漉き体験、工房見学の充実を図る。

② 「紙楽塾」(しがくじゅく)の開催

ロビーにおいて一般参加の和紙工芸体験教室を実施する。

照明器具(あかり)作り、たこ作り、型染め体験、うちわ作り、数名の紙すき体験など、家族連れで楽しめるように豊富なメニューを揃える。

③ 伝統工芸を伝えるワークショップ

八雲塾「三極皮はぎから紙すきまで」(第31回)を開催する。

年に一度の冬の風物詩となっている。紙の原木三極を古式の方法で蒸し、皮をはぎ紙料を作り紙すきまでの工程を体験する。また出来た和紙で明かり作りなどのワークショップもおこなう。

3. 調査研究について

松江市で唯一の伝統工芸手漉き和紙であり、国の重要無形文化財の安部榮四郎、県指定無形文化財の安部信一郎と誇れる技術を伝えている。当館は県内で紙を調査する機関として依頼を受ける。このことは、博物館の活動においても実績になるので積極的に取り組む。

(収益事業)

・ミュージアムショップでの和紙販売

記念館ロビーにおいて運営しているミュージアムショップの商品の充実を図る。

記念館オリジナル商品の開発を積極的におこなう。

・不動産賃貸事業の実施

中野はる氏の事業を継承している株式会社しゅんこうとの土地賃貸契約にともなう賃貸料を収益事業とする。

・収蔵品等賃貸事業の実施

収蔵品や紙漉き体験用の道具等の活用をおこなう。

(法人事業)

・6月 理事会、評議員会の開催 2021年3月理事会の開催

・他団体との交流を積極的におこない、情報収集に努めるとともに互いに行事等で協力できる関係を築く。

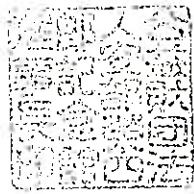
・インターネットを利用した記念館事業の情報発信に力を入れる。

第3号議案 令和2年度収支予算

勘定科目	2年度予算	元年度予算	差額
基本財産受取利息	201,000	201,000	0
基本財産賃貸料収入	1,000,000	1,000,000	0
基本財産運用益	1,201,000	1,201,000	0
入館料収入	500,000	500,000	0
伝言所運営収入	800,000	800,000	0
売店収入	2,000,000	2,000,000	0
事業収入	3,300,000	3,300,000	0
受取地方公共団体補助金	400,000	800,000	△ 400,000
受取補助金等	400,000	800,000	△ 400,000
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0
受取利息	200	200	0
雑収入	10,000	10,000	0
雑収益	10,200	10,200	0
經常収益計	6,111,200	6,511,200	△ 400,000
給与手当	1,668,000	1,547,000	121,000
臨時雇用賃金	450,000	450,000	0
福利厚生費	280,000	280,000	0
旅費交通費	30,000	30,000	0
通信運搬費	190,000	160,000	30,000
減価償却費	1,115,000	1,144,282	△ 29,282
消耗品費	110,000	80,000	30,000
修繕費	100,000	100,000	0
印刷製本費	600,000	630,000	△ 30,000
光熱水料費	500,000	480,000	20,000
賃借料	410,000	410,000	0
保険料	120,000	120,000	0
諸謝金	20,000	20,000	0
雑費	450,000	500,000	△ 50,000
広告宣伝費	100,000	400,000	△ 300,000
調査研究費	30,000	400,000	△ 370,000
研修教材費	500,000	420,000	80,000
事業経費	6,673,000	7,171,282	△ 498,282
事業費	6,673,000	7,171,282	△ 498,282
会議費	30,000	30,000	0
通信運搬費	35,000	55,000	△ 20,000
減価償却費	56,000	58,281	△ 2,281
消耗品費	10,000	10,000	0
修繕費	10,000	10,000	0
光熱水料費	6,000	6,000	0
賃借料	60,000	60,000	0
保険料	2,000	2,000	0
諸謝金	260,000	350,000	△ 90,000
租税公課	1,000	3,000	△ 2,000
負担金	250,000	250,000	0
支払利息	13,000	13,000	0
雑費	250,000	300,000	△ 50,000
管理費	983,000	1,147,281	△ 164,281
予備費	200,000	0	200,000
經常費用計	7,856,000	8,318,563	△ 462,563
評議調整前当期經常増減額	△ 1,744,800	△ 1,807,363	62,563
当期經常増減額	△ 1,744,800	△ 1,807,363	62,563
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,744,800	△ 1,807,363	62,563
法人、住民税及び事業税	220,000	210,500	9,500
当期一般正味財産増減額	△ 1,964,800	△ 2,017,863	53,063
一般正味財産期首残高	210,676,014	212,693,877	△ 2,017,863
一般正味財産期末残高	208,711,214	210,676,014	△ 1,964,800
正味財産期末残高	208,711,214	210,676,014	△ 1,964,800

収支内訳表

公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	合計
	売店等事業	賃貸事業	小計		
				201,000	201,000
		1,000,000	1,000,000		1,000,000
		1,000,000	1,000,000	201,000	1,201,000
500,000					500,000
800,000					800,000
	2,000,000		2,000,000		2,000,000
1,300,000	2,000,000		2,000,000		3,300,000
400,000					400,000
400,000					400,000
600,000	600,000		600,000		1,200,000
600,000	600,000		600,000		1,200,000
				200	200
	10,000		10,000		10,000
	10,000		10,000	200	10,200
2,300,000	2,610,000	1,000,000	3,610,000	201,200	6,111,200
834,000	834,000		834,000		1,668,000
225,000	225,000		225,000		450,000
140,000	140,000		140,000		280,000
5,000	25,000		25,000		30,000
147,500	42,500		42,500		190,000
970,000	145,000		145,000		1,115,000
100,000	10,000		10,000		110,000
90,000	10,000		10,000		100,000
200,000	400,000		400,000		600,000
480,000	20,000		20,000		500,000
360,000	50,000		50,000		410,000
115,000	5,000		5,000		120,000
20,000					20,000
330,000	120,000		120,000		450,000
100,000					100,000
30,000					30,000
500,000					500,000
4,646,500	2,026,500		2,026,500		6,673,000
4,646,500	2,026,500		2,026,500		6,673,000
				30,000	30,000
				35,000	35,000
				56,000	56,000
				10,000	10,000
				10,000	10,000
				6,000	6,000
				60,000	60,000
				2,000	2,000
				260,000	260,000
				1,000	1,000
				250,000	250,000
				13,000	13,000
				250,000	250,000
				983,000	983,000
				200,000	200,000
4,646,500	2,026,500	0	2,026,500	1,183,000	7,856,000
△ 2,346,500	583,500	1,000,000	1,583,500	△ 981,800	△ 1,744,800



公益財団法人 安部榮四郎記念館
令和元年度第3回理事会

- 1、開催日時 令和2年3月12日 12時～13時30分
- 2、開催場所 五幸和室（松江市上乃木四丁目21-7）
- 3、理事総数及び定数
総数 6名、 定足数 4名
- 4、出席理事数 5名
（出席）安部信一郎、青砥誠一、米田裕幸、安部紀正、澤田暉雄
（監事出席） 長澤廣朋
- 5、議案
決議事項 第1号議案 「令和元年度収支予算補正の承認」の件
第2号議案 「令和2年度事業計画案の承認」の件
第3号議案 「令和2年度収支予算案の承認」の件
第4号議案 「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件
報告事項 前理事会から現在までの記念館の運営状況について

6、会議の概要

（1）定足数の確認等

冒頭で安部信一郎理事長より、理事総数6名中、現在5名が出席であること、したがって開催要件の定足数たる過半数4名以上を充足していることを確認し、続いて同理事長から本会議の議事進行について説明があった。

（2）議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、安部信一郎理事長が議長として本会議の成立を宣し、議案の審議に移った。

○ 決議事項

第1号議案「令和元年度収支補正の承認」の件

安部信一郎理事長が資料に基づき詳細説明をおこなった。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

第2号議案「令和2年度事業計画案の承認」の件

安部信一郎理事長が資料に基づき詳細説明をおこなった。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

第3号議案「令和2年度収支予算案の承認」の件

安部信一郎理事長が資料に基づき詳細説明をおこなった。
審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

第4号議案「臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件

安部信一郎理事長より、定款では第1号議案及び第2号議案、第3号議案については、評議員会への報告事項となっているので、評議員全員の同意書によるみなし決議にて決議いただくため、本理事会でその方法を決議し評議員に対して書面評議員会を通知することにつき審議いただきたいとの提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

○報告事項

安部信一郎理事長が、前理事会以降の記念館の運営状況について報告をおこなった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、13時30分、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和2年3月12日

代表理事 安部信一郎



監事 長澤 廣朋



公益財団法人 安部榮四郎記念館
令和元年度第2回臨時評議員会

- 1、評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 「令和元年度収支予算補正の報告」の件
第2号議案 「令和2年度事業計画の報告」の件
第3号議案 「令和2年度収支予算の報告」の件
- 2、評議員会の決議があったものとみなされた事項を提案した理事 安部信一郎
- 3、評議員会の決議があったものとみなされた日 令和2年3月27日
- 4、評議員会議事録の作成に係る職務を行った理事 安部信一郎

評議員数 6名 (同意書別添のとおり)
監事数 2名 (確認書別添のとおり)

令和2年3月12日、代表理事 安部信一郎が評議員の全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき令和2年3月27日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、定款第23条(一般法人法第194条)に基づく評議員の決議の省略の方法により、当該提案(第1号議案及び第2号議案)を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

以上のとおり、評議員会の決議があったとみなされた事項を明確にするため、本議事録作成に係る職務を行った理事は次に記名押印する。

令和2年3月27日

代表理事 安部信一郎

